

県男女共同参画社会づくり

功労2個人と1団体表彰

本年度の県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰式が23日、県庁で行われた。功労者表彰の受賞者に選ばれた酒田市の佐藤茂枝さん(小松写真印刷会長)をはじめ、受賞者2個人と1団体が吉村美栄子知事から表彰状を受け取った。

同表彰は、男女共同参画社会づくりに顕著な功績があった個人や団体、または仕事や地域活動などさまざまな分野でチャレンジし活躍している個人や団体を顕彰し、男女共同参画社会の形成促進に資するもの。今

回は功労者表彰を2個人が、チャレンジ賞を1団体がそれぞれ受賞した。



表彰式では吉村知事が各受賞者に表彰状を渡すとともに「皆さんのこれまでの活動に深く感謝する。コロナ禍の中でいろいろな苦労があると思うが、今後とも男女が共に参画できる社会づくりに協力をお願いしたい」とあいさつした。

その後の懇談では、吉村知事から「元気の秘訣は」と尋ねられた佐藤

さんが「食べることです」と答え、吉村知事が「全く一緒です」と笑い合う姿が見られた。庄内日報社の取材に佐藤さんは「久しぶりに知事と会い、表彰状を頂けてうれしかった。昔と違って現在は男女の差なく社会に参画している。これが当たり前のことになるように今後も頑張っていきたい」と話した。

し、女性スタッフを中心とした編集部を組織し女性の人材育成に取り組んだ。また、情報誌にはさまざまな分野で活躍する女性を掲載し、女性活躍の機運醸成に取り組んでいる。

功労者表彰を受賞した佐藤さんは、長年にわたり会社経営と商工会議所活動に携わり、酒田商工会議所では初の女性副会頭を務め各種方針決定に意見を反映させるなど、女性の社会参画促進に大きく貢献。1991年には情報誌「月刊SPON」(スポン)を創刊

男女共同参画の社会づくり功労者として表彰状を受け取る佐藤さん